



2025年1月10日

各位

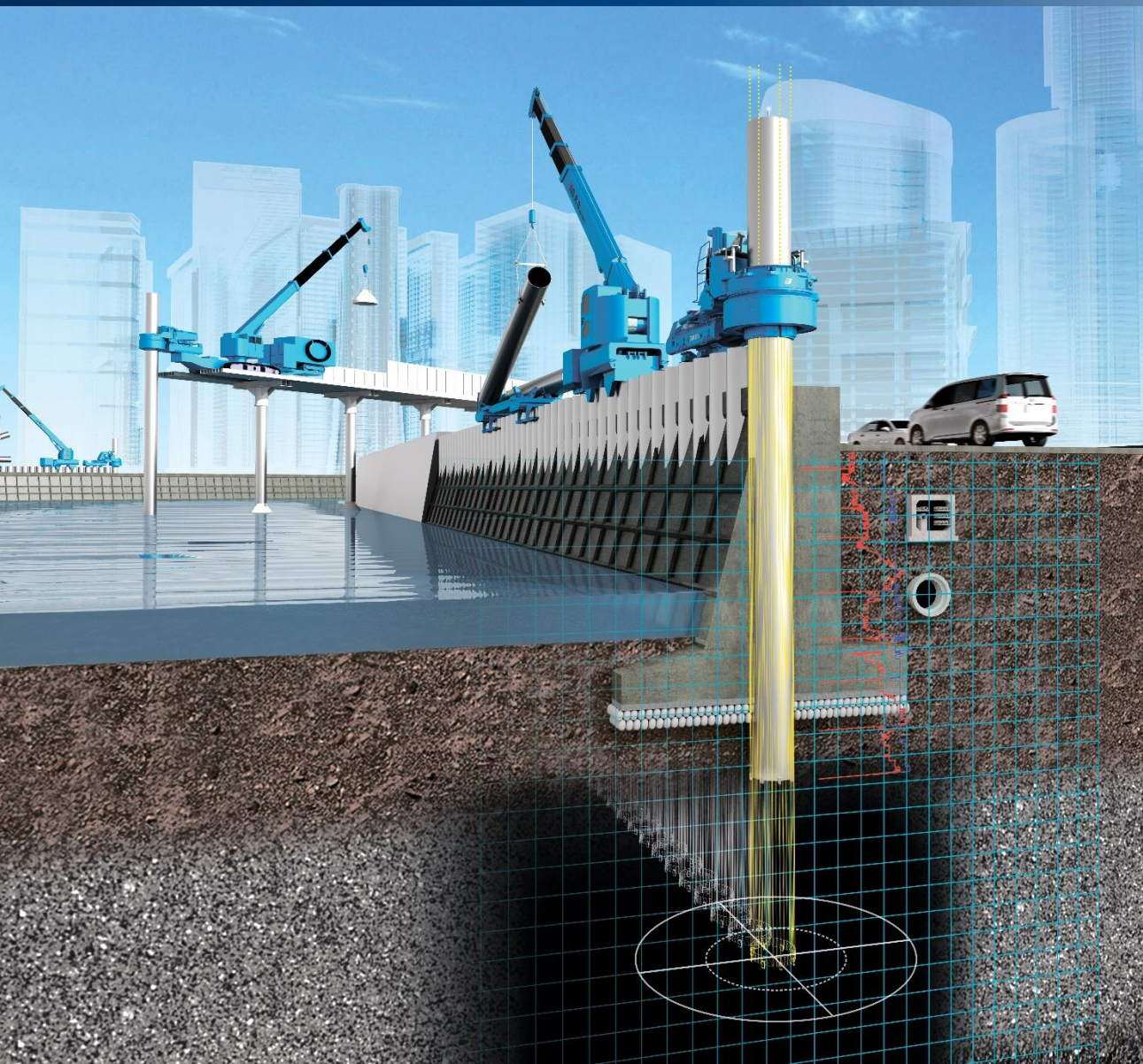
会社名 株式会社 技研製作所
代表者名 代表取締役社長 CEO 大平 厚
(コード番号 6289 東証プライム市場)
問合せ先 常務執行役員 田内 剛
(TEL 088-846-2933)

2025年8月期 第1四半期決算説明資料に関するお知らせ

2025年8月期第1四半期の決算概要および2025年8月期の通期業績予想等の説明資料を作成いたしましたので、別紙のとおりお知らせいたします。

以上

2025年8月期第1四半期(2024年9月~2024年11月)



 **GIKEN**

株式会社 技研製作所
決算説明資料

2025年1月10日
証券コード:6289

将来見通しに関する注意事項

本資料において提供される当社および当社グループの現在の方針、経営戦略などの情報のうち、歴史的事実でないものは、将来に関する記述をはじめとする、現在入手可能な情報をもとに構築したいわゆる「見通し情報」を含みます。これらは見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、各国の経済状況や業界並びに市場の景況、金利や物価、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本資料に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

2025年8月期 第1四半期 決算概要

(1) 建設機械事業

◎ 圧入工事の発注は底堅く推移

- ・ 国内の国土強靱化施策や能登半島地震復旧・復興関連事業、高速道路、港湾等、インフラ投資は堅調さを維持

◎ 鋼材価格高騰や労務費上昇の影響については引き続き注視が必要

◎ 海外は市場形成が軌道に乗りつつある地域に経営資源を集中し、事業基盤を整備

(2) 圧入工事事業

◎ 国内は開発型案件を中心に堅調に受注

- ・ 国道や高速道路の築造・改装工事、河川流域治水事業、鉄道の立体交差事業、発電所内施設整備事業等において、開発型案件の受注が堅調に推移

◎ 海外はドイツにてオペレーター付きレンタルの需要が継続

業績推移 — 第1四半期

売上高：前年同期比25.4%減収の5,532百万円

営業利益：前年同期比46.2%減益の645百万円

四半期純利益：前年同期比58.0%減益の366百万円

単位：百万円

通期	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	7,482	+4.5%	7,418	▲0.9%	5,532	▲25.4%
国内売上	6,662	+9.0%	6,475	▲2.8%	5,238	▲19.1%
海外売上	819	▲21.7%	943	+15.1%	294	▲68.8%
海外比率	11.0%	▲3.6%pt	12.7%	+1.7%pt	5.3%	▲7.4%pt
売上総利益	2,813	▲3.6%	3,000	+6.6%	2,294	▲23.5%
営業利益 (営業利益率)	1,123 (15.0%)	▲18.8%	1,198 (16.2%)	+6.7%	645 (11.7%)	▲46.2%
経常利益	1,180	▲16.8%	1,265	+7.2%	679	▲46.3%
四半期純利益※	717	▲22.1%	872	+21.5%	366	▲58.0%
1株当たり純利益	26.10円	▲22.2%	32.49円	+24.5%	13.69円	▲57.9%

※ 四半期純利益：親会社株主に帰属する四半期純利益

セグメント別業績推移 — 第1四半期 建設機械事業

国内売上：コスト上昇に伴う施工規模の縮小の影響で製品販売が減少

海外売上：シンガポールの製品売上・ブラジルにおける製品売上の計上による反動減

営業利益：売上減による売上総利益の減少、高利益率の大型特殊機の販売による反動減

単位：百万円

建設機械事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	5,376	▲4.9%	5,388	+0.2%	3,881	▲28.0%
国内売上	4,829	▲4.0%	4,413	▲8.6%	3,539	▲19.8%
海外売上	196	▲51.2%	866	+340.3%	197	▲77.2%
内部売上	350	+58.0%	108	▲69.1%	144	+33.4%
海外比率※	3.9%	▲3.5%pt	16.4%	+12.5%pt	5.3%	▲11.1%pt
営業利益 (営業利益率)	1,335 (24.8%)	▲26.7%	1,518 (28.2%)	+13.7%	870 (22.4%)	▲42.6%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

セグメント別業績推移 — 第1四半期 圧入工事事業

国内売上：複数の継続案件による高水準な工事売上の反動減

海外売上：オペレーター付きレンタルが進捗

営業利益：売上減による売上総利益の減少、利益率の高い開発型案件が進捗

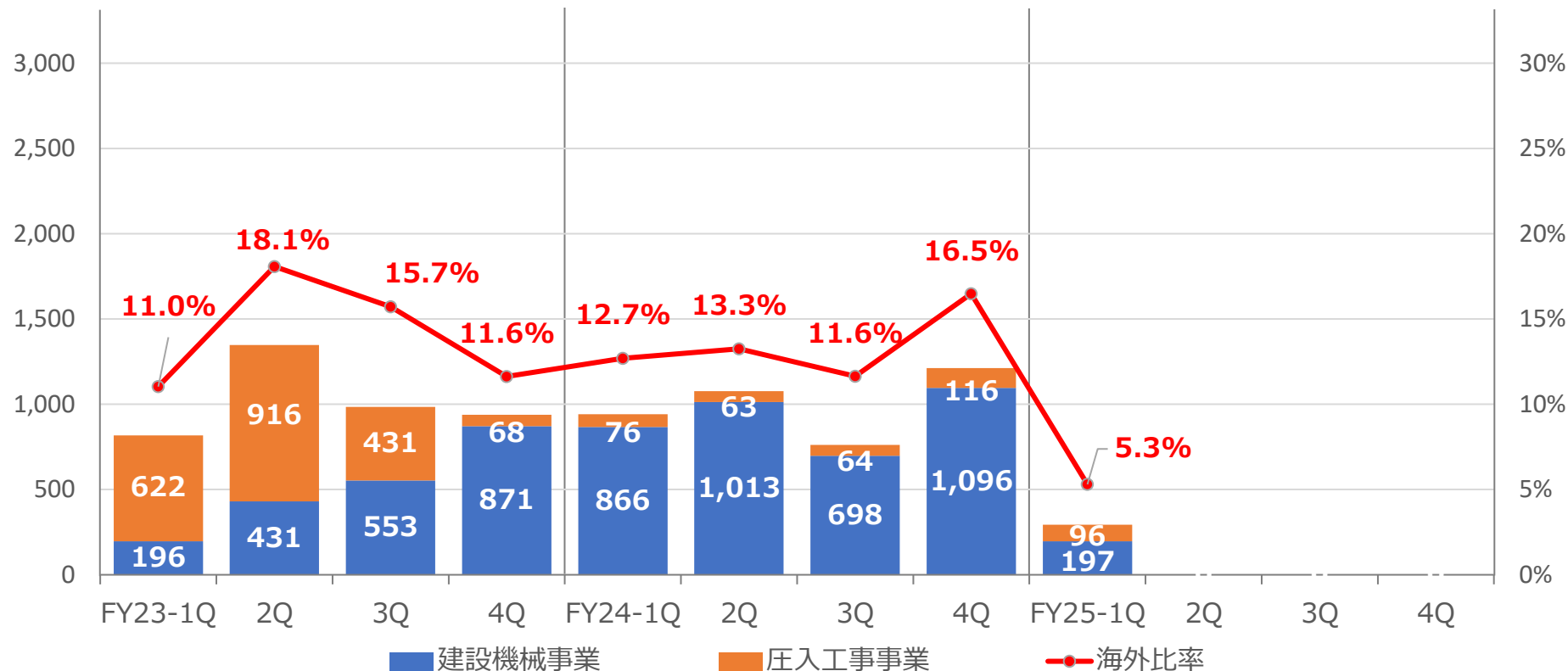
単位：百万円

圧入工事事業	2023/8期		2024/8期		2025/8期	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	2,588	+47.8%	2,185	▲15.6%	1,808	▲17.2%
国内売上	1,833	+68.8%	2,061	+12.4%	1,698	▲17.6%
海外売上	622	▲3.2%	76	▲87.7%	96	+26.2%
内部売上	132	+489.8%	47	▲64.6%	13	▲71.4%
海外比率※	25.4%	▲11.8%pt	3.6%	▲21.8%pt	5.4%	+1.8%pt
営業利益 (営業利益率)	419 (16.2%)	+328.3%	299 (13.7%)	▲28.5%	304 (16.8%)	+1.7%

※ 海外比率は内部売上を除いた金額を基に算出しております

海外売上高・海外比率推移

単位：百万円



	FY23				FY24				FY25			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
海外売上高	819	1,347	984	940	943	1,076	762	1,212	294	-	-	-

(注) 2023年8月期第4四半期より海外連結子会社が1社減少

2025年8月期 業績予想

業績予想

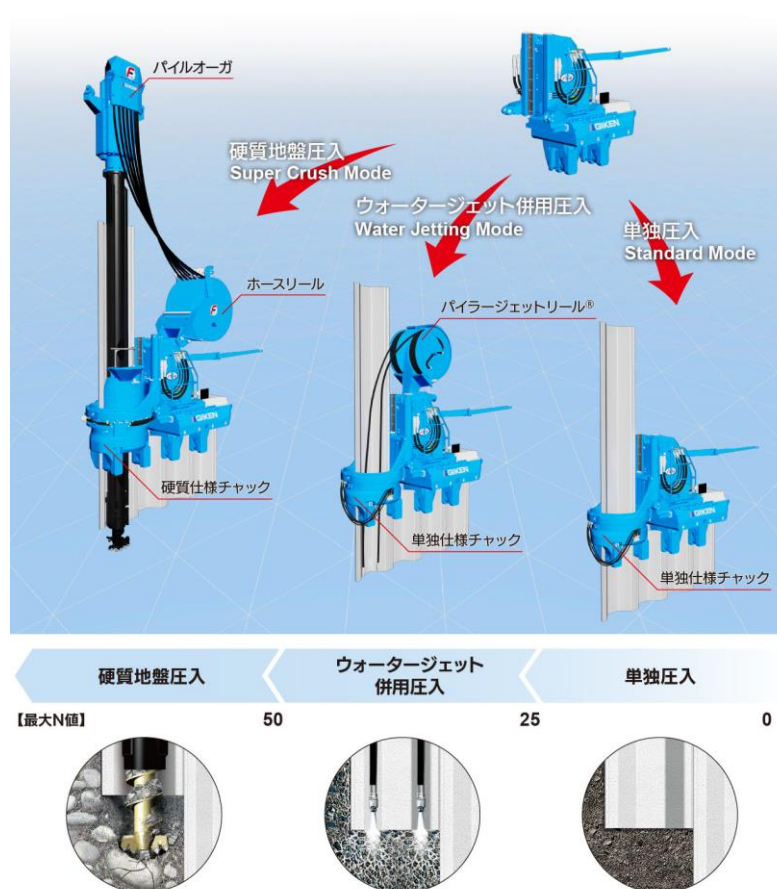
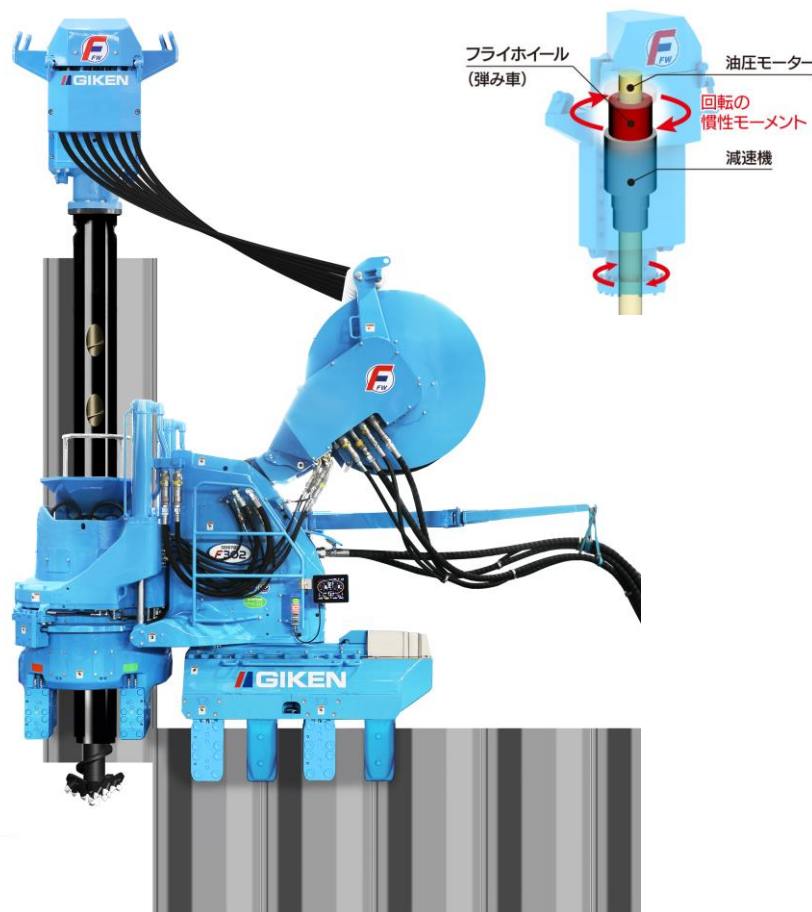
2025年8月期通期予想・上期予想については、10月11日に発表した予想と変更ございません

単位：百万円

	2025/8期					
	1Q実績	2Q予測	上期予想	下期予想	通期予想	前期比
売上高	5,532	10,167	15,700	14,300	30,000	+1.8%
営業利益	645	1,904	2,550	950	3,500	+5.3%
経常利益	679	1,920	2,600	1,000	3,600	+0.5%
当期純利益※	366	1,533	1,900	700	2,600	+6.7%
1株当たり純利益	13.69円	57.29円	70.98円	26.15円	97.13円	+6.7%

※ 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益

フライホイール式パイルオーガを標準搭載した新型機「サイレントパイラーF302」を初納入



洗堀防止のため、矢板護岸を構築する本設工事にて初稼働
硬質地盤での施工効率を高め、適用地盤を拡大

海外 — 現状と今後の方針

海外市場の積極展開

海外市場は機械販売からトータルサポートへ

圧入機ユーザーへの総合支援サービス「GTOSS（ジトス）＝GIKENトータルサポートシステム」を軸として、現地の課題に対応しつつ拠点機能を整備し、市場拡大を加速させる

市場形成が軌道に乗りつつある地域

■ヨーロッパ地域

- ✓ オランダにおいて、アムステルダム市の世界遺産の運河護岸改修PJ（商業化フェーズに移行）のほか、デルタプログラムの一環で実施される河川堤防の補強工事等で市場形成が進捗
- ✓ 既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け欧州版GTOSS「GTOSS EUROPE」を開始
- ✓ 業務提携協定を結ぶSeika Sangyo GmbH（本社：ドイツ）と工法普及の取り組みを推進

■アジア地域

- ✓ タイにおいて河川護岸整備等で市場形成に注力
- ✓ インドで新しく市場調査を開始
- ✓ シンガポールにてジャイロプレス工法が初採用引き続き市場形成に注力
- ✓ 中国でパートナー企業と連携した市場形成を推進
- ✓ 台湾で建設公害に対する意識の高まり等を背景に市場形成が進捗
- ✓ ODA市場の拡充

その他の地域

■北米

- ✓ ニュージャージー州に営業所を開設し、東海岸を中心に事業活動を再開
- ✓ 既存市場の基盤強化、顧客ロイヤリティ向上に向け北米版GTOSS「GTOSS North America」を開始

■南米

- ✓ ブラジルでのビジネス構築に向け、JICA支援を受けて三井物産株式会社と共に事業計画を策定（2024年末に完了）し、これを基に圧入需要のあるインフラに技術提案を進める

各国の現地パートナー企業とデモンストレーションを実施・計画 硬質地盤クリア工法・ジャイロプレス工法の市場拡大を加速

2024年12月：中国
硬質地盤クリア工法
参加実績：約80社

2025年3月：イギリス
ジャイロプレス工法
参加想定：30社以上

2025年4月：ドイツ
bauma2025出展
(F401・GRB)
前回来場者数：約50万人



硬質地盤クリア工法



ジャイロプレス工法



Construction Revolution

Implant Method Changes Worldwide Construction